

新たなつながりが生まれる場！

(杉並和泉学園校区地教推・和泉地区乳幼児関連施設連絡会)



↑全体的様子(会場：レストナック和泉館)

杉並和泉学園校区地域教育推進協議会（愛称 あすをりなすの会）が主催する「和泉地区乳幼児関連施設連絡会」に参加しました。和泉地域には、幼稚園、保育園、保育所をはじめ、多種多様な乳幼児関連施設があります。あすをりなすの会では、これらの施設間のネットワーク化、相互連携を図ることで地域ぐるみで子どもを見守り・育て合う“和泉地域”を目指しています。本会は「①和泉地区の乳幼児関連施設間の情報の交換と共有を進め、各施設の抱える課題の解決に向けて、施設間相互の連携を促すきっかけとする。」、「②乳幼児関連施設と町会等の地域団体との情報の交換と共有、さらには連携を模索する機会とする。」ことを目的としています。

「子どもへの対応」や「災害時の対応」を主なテーマに設定し、グループごとに話し合いを進めましたが、話をする中で、「あれはどうなっているの？」や「こういった場合はどうしていますか？」など、具体的な日々の困りごとにも広がりを見せていました。互いの困っている部分を補い合える施設があることに気づき、新たなつながりが生まれる様子が見られました。

自分たちに何ができるかという当事者意識をもち、今後の連携や活動等について話し合えた有意義な会になったのではないのでしょうか。



参加したある施設で作成した手作りパペットです。貸出可とのことで、杉並和泉学園校区の地教推では、いずみ図書フェスに登場するそうです。



子ども・子育てプラザ和泉の利用者が誰でも見られるように、本会の参加乳幼児関連施設の資料をファイリングしています。

今後は、施設紹介などを載せた広報誌も作成するとのことです。

改めて多くの人に支えられていることを感じた。一層、地域への理解啓発を図っていく。

自分の園以外のお話を聞くことはとても勉強になったり、何より楽しかった。

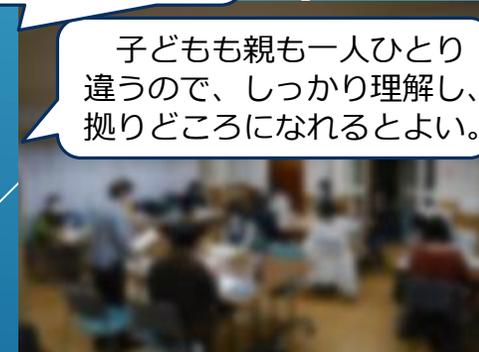
今後、互いの状況を知ることを含め、情報共有を強化していきたい。

親の抱える悩みも多様化していて、子どもはもちろん、親への支援も大切にしている。

子どもも親も一人ひとり違うので、しっかり理解し、掘りどころになれるとよい。



↑グループ懇談



↑全体共有